

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R3年度実施実績	R4年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
<p>産業のまち東区 まちづくり・ひとづくり プロジェクト</p> <p>○東区工場夜景バス ツアー (H28～)</p> <p>【R4予算額】 1,000千円</p> <p>○東区マイクロツー リズムの推進 (H29～R4)</p> <p>【R4予算額】 1,500千円</p> <p>※令和3年度は「産業 のまち東区魅力発信 プロジェクト」とし て実施。令和4年度か らは「東区まちづく り・ひとづくりプロ ジェクト」に再編・ 統合</p>	<p>地域課</p> <p>【第3部会】</p>	<p>【事業目的】 東区の個性である「産 業のまち」をはじめとし た東区の魅力を区内外に 広く発信し、区民として の誇りの再発見と交流人 口の拡大を促進する。</p> <p>【事業概要】 1 工場夜景バスツアー 2 インスタグラムでの情 報発信 3 東区魅力発信フォトコ ンテストの実施</p>	<p>1 工場夜景バスツアー (定員:20名or40名) ・9月21日(火)20名募集 85人応募(4.3倍) ・9月26日(日)20名募集 95人応募(4.8倍) ・10月21日(木)40人募集 36人応募(0.9倍) ・10月28日(木)40人募集 27人応募(0.7倍)</p> <p>○主な見学先 ・航空自衛隊新潟分屯基地 ・新潟県消防防災航空隊 ・東北電力新潟火力発電所 ・(株)丸山車体製作所 ・(株)博進堂 ・fabsmarket(制作体験) など</p> <p>2 インスタグラムでの情報 発信</p> <p>3 東区魅力発信フォトコン テストの実施 ・10月～ 募集 ・2月 審査会の実施 応募者61人 作品数193点 入賞数10点</p>	<p>1 工場夜景バスツアー (定員:40名) (1) 県立大学生・新大 生向けバスツアー ・6月6日(月)参加者数 27人(教員1人を含む) ○見学先 ・(株)IHI原動機また は(株)ニイガタマシンテ クノ ・新潟空港 ・(株)博進堂 (2) 一般向けバスツ アー ・第1回「ヘリコプター と新潟空港特別見学編」 (10月1日(土))参加 者数39人 ・第2回「古町芸妓の舞 鑑賞と旧齋藤家別邸見学 編」(10月18日(火)) 参加者数39人 ・第3回「印刷工場と観 光バス洗車機・ものづく り体験編」(10月28日 (金))参加者数38人 ○主な見学先 ・新潟空港 ・中日本航空 ・古町芸妓の踊り鑑賞 ・バス洗車場 ・(株)博進堂 ・アロマハート(制作体 験) など</p> <p>2 東区PR動画の作成 ・「工場夜景バスツ アー」「産業のまち東 区」「じゅんさい池」の 3つのテーマで動画を作 成し、東区の魅力を発信 する。</p> <p>3 インスタグラムでの情 報発信</p> <p>4 東区市民ウォークの実 施 10月初旬にコロナ対策 をして開催予定だった が、感染拡大防止のため 中止。</p>	<p><実績> 工場夜景バスツアー (定員40人) ○令和4年度 一般向け3回実施 443人応募(3.7倍) ○令和3年度 4回実施 229人応募(1.9倍) ○令和2年度 4回実施 261人応募(2.2倍) ○令和元年度 4回実施 926人応募(5.8倍) ○平成30年度 3回実施 665人応募(5.5倍) ○平成29年度 2回実施 692人応募(9.2倍) ○平成28年度 4回実施 2,279人応募(14.2 倍)</p> <p>フォトコンテスト ○令和3年度 ・応募者61人 ・作品数193点 ○令和元年度 ・応募者64人 ・作品数 産業のまち部門99点 東区の四季部門77点 計176点 ○平成29年度 ・応募者79人 ・作品数 産業のまち部門172点 夜景部門87点 計259点</p>	<p>【評価】 東区の工場夜景を核とし た事業を展開する ことにより、観光資源の 少ない東区の新たな 観光資源として認知度 が向上し、区民の誇り づくりや交流人口の 拡大に寄与している。</p> <p>【来年度方針】 継続 令和4年度から「産業 のまち東区まちづく り・ひとづくりプロ ジェクト」を立ち上げ 、事業を統合し、「産 業のまち東区」を一 体的に発信している。 工場夜景バスツアー は新型コロナウイルス 感染予防対策をした 上で、令和4年度と同 様に一般向けを3回 実施する。 工場夜景のほか「新 潟県消防防災航空隊 」や「航空自衛隊新 潟分屯基地」「新潟 火力発電所」とい った公共施設を見学 できるという特徴を 活かした内容とする。 令和4年度に作成す る東区PR動画は若 年層が見ても楽し める内容とする予 定であり、本動画 の活用を通じた若 年層への東区の 魅力を発信を 継続する。また、 後述のフォトコ ンテストの学生 に向けたPRにお いても、併せて 活用する。 また、平成29年 度、令和元年度、 令和3年度に 続き、「東区魅力 発信フォトコン テスト」を実施 する。一般部門 のほか、新たに 学生部門を設 け、若年層に 向けた魅力 発信に取 り組む。東区 公式インスタ グラムでフォ トコンテスト 入賞作品を 紹介するなど、 「産業の まち」として の東区をい つでも誰 でも楽し めるよう に、継続 的な情報 発信を行 う。</p> <p>【必要予算額】 2事業合計 2,000千円 ・工場夜景バスツアー【継続】 1,000千円 ・東区魅力発信フォトコンテスト【拡充】 1,000千円</p>

令和4年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R3年度実施実績	R4年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
<p>産業のまち東区 まちづくり・ひと づくり</p> <p>こいのぼりプロジェクトin 寺山公園 (R4～)</p> <p>【R4予算額 6,500千 円】 (1,000千円)</p>	<p>建設課</p> <p>【第3部会】</p>	<p>【事業目的】 子育て交流施設を有し、市内でも人気の高い寺山公園の知名度向上を図るとともに、将来的なネーミングライツ等の企業協賛を見据え、東区の強みである子育て支援や、産業・ものづくりなどの魅力について、地域と連携したイベント等により市内外へアピールする。</p> <p>【事業内容】 地元関係団体、小中学校、企業などで構成する「区民のこいのぼりプロジェクト実行委員会」で企画運営を進める。</p> <p>・こいのぼりの掲揚(15本) ・地域の関係団体や企業と連携したイベントの開催(ゆめ・のせ・あがれ！寺山こい来いフェスタ)</p>	<p>「ゆめ・のせ・あがれ！寺山こい来いフェスタ」を開催した。(コロナ禍を考慮し、規模を縮小して実施した) ・GW期間中に区民を中心に無償で提供いただいた「こいのぼり」を寺山公園、東区役所エントランスに掲揚した。</p> <p>【実績】 開催期間 4月29日～5月9日 イベント参加者数 約400人 イベント数 3回</p> <p>・区民のこいのぼりプロジェクト実行委員会が主体となり「寺山こどもまつり」を開催した。 ・ゆめ・のせ・あがれ！寺山こい来いフェスタの期間に見頃を迎えるチューリップの植栽を実施した。</p> <p>【実績】 開催期間 11月3日、11月7日 イベント参加者数 約800人 イベント回数 5回</p>	<p>・地元関係団体、小中学校、企業などで構成する「区民のこいのぼりプロジェクト実行委員会」が主体となり「ゆめ・のせ・あがれ！寺山こい来いフェスタ」を開催した。 ・開催期間中、区民を中心に無償で提供いただいた「こいのぼり」を寺山公園内の15本のポールに掲揚するとともに、企業と連携したイベントを実施した。(例年どおりの規模で実施した)</p> <p>【実績】 開催期間 4月29日～5月8日 イベント参加者数 約3,400人 イベント回数 9回</p> <p>・東区げんき隊が主催の「2022東区げんきフェス」とい～てらすが主催の「Trick or Treat!? てらてらハロウィンパレード」と連携し、チューリップの植付体験イベントを実施した。</p> <p>【実績】 開催日 10月22日 参加者数 173人 (東区げんきフェス同時開催)</p> <p>開催日 10月29日 参加者数 58人 (ハロウィンパレード同時開催)</p>	<p>日々の作業である、こいのぼりの掲揚と降納について、地元木戸中学校の生徒から担ってもらった。また、牡丹山小学校、木戸中学校の生徒が、チューリップの球根掘起しを実施した</p> <p>【掲揚・降納作業参加者】 ・木戸中学校 50人</p> <p>【球根掘起し参加者】 ・牡丹山小学校125名(3年生) ・木戸中学校 25名(3年生)</p>	<p>【評価】 ①事業内容の妥当性 区民を中心に無償で提供いただいた「こいのぼり」を寺山公園の掲揚することで、東区のPRに繋がった。また、地元企業との連携イベントを開催することで、東区の特徴である、産業・ものづくりなどの魅力発信の機会となっている。 ②事業の効率性と費用対効果 地元中学校から協力いただき、イベント運営において人員の確保をした。 ③協働の視点 地元関係団体や学校関係、企業等で組織する実行委員会で事業の企画・運営を行っており、地元企業・個人から協賛をいただき、イベント企画を行った。 ④今後の事業展望 東区の魅力を発信する寺山公園におけるイベントとして、定着を図るとともに、ネーミングライツ事業への展開を進める。</p> <p>【来年度方針】 (1)継 続 更なる知名度の向上と、こいのぼりを通じた連携を輪を広げるため、「ゆめ・のせ・あがれ！寺山こい来いフェスタ」を継続して開催する。 イベントの企画・運営については、実行委員会で行うが、行政側の支援として、安全衛生対策費用や掲揚ポールなどに係る費用を支出する。</p> <p>【必要予算額】 2,000千円 ポール設置撤去……200千円 安全対策経費……100千円 開催案内作成費……200千円 衛生対策費……100千円 プランター植栽……200千円 チューリップの植栽…1,200千円 計 2,000千円</p>

令和4年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R3年度実施実績	R4年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
<p>産業のまち東区 まちづくり・ひとづ くり</p> <p>⑤賑わいのみなとまち づくりプロジェクト (R4～)</p> <p>【R4予算額 6,500千 円】 (1,000千円)</p>	<p>建設課</p> <p>【第3部会】</p>	<p>【事業目的】 広域交流拠点である「新潟西港」周辺の魅力や歴史、文化などを発信し、賑わい創出につながるイベント等を実施する。また、「新潟西港」が持つ拠点性や航路等でつながる地域との連携を活かした取り組みを進める。</p> <p>【事業内容】 ・地元まちづくり団体「山の下まちづくりセンター」を中心に、地元商店会や関連企業などと協力体制を組みながら、イベントの企画運営を進める</p> <p>・新潟西港の特色や拠点性を活かしたイベントの開催(飲食、物販)</p>		<p>山の下地区の活性化、賑わい創出に向け、新潟西港周辺でイベントを2回開催</p> <p>【イベント】 光と船のきらめき！山の下夜遊びランド (8月26日、27日 開催) ・みなとランド、みなとタワーの利用時間延長 ・飲食店の出店 ・ライトアップ、ワークショップ等の実施 (参加者数) 約7,000人(2日間 推計) 26日:約5,000人 27日:約2,000人</p> <p>山の下ハロウィンパーティー (10月29日 開催) ・ステージイベント ・飲食店の出店 ・仮装やコスプレ ・スタンプラリー ・参加型アート ・ライトアップ、ハロウィン装飾等の実施 (参加者数) 約3,000人(推計)</p>	<p>イベントの実施にあたり、地元まちづくり団体やコミュニティ協議会、企業等で構成する実行委員会を立ち上げ、企画や運営をおこなった。</p> <p>イベント当日の交通誘導や警備を、地元自治会より積極的に担っていただいた。</p> <p>山の下地区活性化まちづくり実行委員会</p> <p>【構成】 山の下まちづくりセンター 山の下地区コミュニティ協議会 桃山校区コミュニティ協議会 地元まちづくり団体 地元企業 東区役所</p>	<p>【評価】</p> <p>①事業内容の妥当性 新潟西港の新たな魅力として、「みなとの夜景」と地域の活性化を前面に出すイベントを実施し、東区及び山の下地区を代表するイベントになりえるほどの盛り上がりとなった。</p> <p>②事業の効率性と費用対効果 多くの来場者からイベントを楽しんでいただき、賑わいの空間として活用することが出来た。</p> <p>③協働の視点 イベントの実施にあたり、山の下まちづくりセンターを中心とした実行委員会を組織しており、また、事業予算については、まちづくりセンターと区が負担金として支出している。</p> <p>④今後の事業展望 産業のまち東区、港町である山の下地区を代表するイベントとして定着させるとともに、ネーミングライツ事業への展開を検討する。</p> <p>【来年度方針】 継続 東区及び山の下地区を代表するイベントとして、知名度向上や定着を図るため、引き続き開催する。</p> <p>【必要予算額】 3,500千円</p>

令和4年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R3年度実施実績	R4年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
<p>地域と取り組む！高齢者見守り訪問・介護予防事業 (R3～)</p> <p>【R4予算額】 2,500千円</p>	<p>健康福祉課 【第2部会】</p>	<p>【事業目的】 一人暮らしや高齢者のみ世帯の高齢者のうち、介護認定を受けている世帯や生活保護受給者などを除く、第三者の目が届きづらい高齢者の現状を確認し、状況に応じて適切なサービスを導入する。 健康寿命延伸を目的に、コミュニティ協議会との協働による健康づくり及び介護予防に取り組む。</p> <p>【事業概要】 1 見守り訪問 民生委員の協力による一次訪問、区役所による二次訪問を経て、対象高齢者の適切なサービス利用を支援</p> <p>2 健康づくり・介護予防講座 コミ協との協働による健康づくり・介護予防講座</p> <p>3 自主グループリーダー研修会 運動普及推進委員・食生活改善推進委員・ウォーキング等の自主グループリーダーを対象とした研修会</p>	<p>1 見守り訪問 ○対象者 区内の75歳以上高齢者 21,399人のうち 6,100人(28.5%) ○調査結果(6,100人のうち) ・介護保険サービスが必要 12人(0.2%) ・介護保険外サービスが必要 1人(0.0%) ・地域や地域包括支援センター等の見守りが必要 67人(1.10%) ・問題なし・除外(若手と同居していた等) 6,020人(98.7%)</p> <p>2 健康づくり・介護予防講座 ・下山コミ協 3回実施延べ59名参加 ・南中野山コミ協 4回実施延べ139名参加</p> <p>3 自主グループリーダー研修会 ・運動普及推進委員、ウォーキング自主グループ代表者合同研修会 2回65人 ・幸齢ますます元気教室自主グループリーダー研修会 1回12人 ・幸齢ますます元気教室自主グループフォロー研修会 2月に2回予定していたが、新型コロナウイルスのため中止。</p>	<p>1 見守り訪問 ・民生委員に対しアンケートを実施(7月) ・民生委員による一次訪問 9～11月に実施 ・看護師等による二次訪問 1～2月に実施予定 ・介護保険、予防等の必要なサービスへつなげる。 ・民生委員が二次訪問対象者を判断するためのチェックリスト作成</p> <p>2 健康づくり・介護予防講座 ・牡丹山コミ協 9～11月に3回実施(延べ37名参加) ・中野山コミ協 10～11月に2回実施。(延べ83名参加) 12月に1回実施予定 ・南中野山コミ協フォロー講座 1回実施(41名参加)</p> <p>3 自主グループリーダー研修会 ・運動普及推進委員、食生活改善推進委員、ウォーキング、脳トレ自主グループ合同研修会 11月に1回実施(27名参加) 12月に1回実施予定 ・幸齢ますます元気教室自主グループフォロー研修会 各圏域毎に4回実施予定</p>	<p>1 見守り訪問 ・民生委員から全面的な協力のもと事業を実施 ・中野山コミ協では「支え合いのしくみづくり会議」として、当該訪問結果を活用し、地域での見守り活動を実施</p> <p>2 健康づくり・介護予防講座 関係機関やコミ協と事前に協議しながら実施</p> <p>3 自主グループリーダー研修会 合同研修会を通して、各団体・グループの活動に関する理解も深まっている。</p>	<p>【評価】 1 見守り訪問 ・訪問調査により98%の方が当面問題がないことが分かった。介護保険や予防等のサービスにつながった方は0.2%であり、対象者全戸の訪問方法は効率的なやりかたとは言えないが、東区地域福祉計画・地域福祉活動計画の基本理念として掲げている「地域の人々とのふれあいや支えあいのなかで、みんなの顔が見え、元気で安心して暮らせるまち」につながっている。 ・民生委員の高齢化や欠員により民生委員の負担が大きくなっており、今後協力いただけない地域が出てくる懸念される。 ・中野山コミ協のように、地域の見守りに発展させている地域も出てきている。 ・民生委員へのアンケートでは、民生委員活動に役立つと答えた方は全体の89%、継続を望むと答えた方は84%であった。</p> <p>2 健康づくり・介護予防講座 地域が地域の手により地域の現状を理解することが基礎になるため、継続する必要があると考える。</p> <p>3 自主グループリーダー研修会 運動普及推進委員・食生活改善推進委員・自主グループについては、今後も活動の幅を広げ、地域での活動を継続できるよう研修内容を検討している。</p> <p>【来年度方針】 継続 1 見守り訪問 ・民生委員が高齢者の見守りの必要性を強く持っており、当該事業に非常に協力的である。 ・民生委員による戸別訪問調査は東区のみが実施できる事業であり、高齢者が安心して暮らせるまちづくりに寄与している。 ・民生委員の負担や効率性の面で課題はあるので、今年度訪問を実施する民生委員及び包括支援センターあてアンケート結果を踏まえ、民生委員の負担が大きくならないような方法を検討する。 ・また、訪問調査が地域での見守り活動につながるよう検討する。 ・当該事業によって、これまで民生委員とともに培ってきた見守り体制は東区の強みであり、次年度以降も事業を継続する。(区づくり事業)</p> <p>2 健康づくり・介護予防講座 健康づくり・介護予防教室について、未実施のコミ協に打診し、地域の健康づくりを支援していく。</p> <p>3 自主グループリーダー研修会 地域の健康づくりリーダーとして、運動普及推進委員、食生活改善推進委員や自主グループのメンバーは活発に活動しているため、これからも活動の幅を広げていけるよう研修会を実施し、知識、技術等を得て、健康寿命延伸のために活動できるよう継続して支援していく。</p> <p>【必要予算額】 3,000千円(500千円増) 事業の一部を民間委託し、職員の負担を軽減するため。</p>

令和4年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R3年度実施実績	R4年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
<p>東区歴史文化プロジェクト (H24～※)</p> <p>【R4予算額】 3,000千円</p> <p>(※平成24年度から「東区まんなか文化プロジェクト」として継続的に実施。令和3年度より事業名を「東区歴史文化プロジェクト」に変更。)</p>	<p>地域課 【第2部会】</p>	<p>【事業目的】 東区市民劇団による演劇公演や、区内を中心に活動している個人・団体の作品展示、区内中学校文化部の活動発表などを通じ文化を発信するとともに、東区の歴史の普及啓発に取り組む。</p> <p>【事業概要】 1 東区市民劇団演劇公演事業 東区唯一の市民劇団である「座・未来」による演劇公演を東区プラザで行う。</p> <p>2 東区文化活動サポート事業 区内を中心に活動している個人・団体(区内中学校の文化部を含む)による作品展示などの文化活動を支援する。また、区役所南口のエントランスホールや東区プラザを活用した「にぎわい」の創出に取り組む。</p> <p>3 歴史普及啓発事業 公民館事業と協力・連携しながら実施する。</p>	<p>1 東区市民劇団演劇公演事業 公演「淳足柵(ぬたりのき) 物語～姫と剣とわらべ唄～ 東区プラザ開館10周年記念公演」 開催日：12月4日(土)～5日(日) ※3回公演 会場：東区プラザホール 来場者数：537人</p> <p>2 東区文化活動サポート事業 (1) 東区ギャラリー 1年間を通して1か月単位で絵画サークルや個人の作品を展示。 (2) バレンタインコンサート 開催日：2月13日(日) 会場：東区プラザホール 来場者数：89人 (3) 東区内中学校文化部発表会 ①音楽部発表会 開催日：8月6日(金) 会場：東区プラザホール 参加校：2校 ②美術部作品・体育祭応援パネル展示 美術部作品 展示期間：8月11日(水)～23日(月) 参加校：2校 イ 体育祭応援パネル 展示期間：9月15日(水)～10月28日(木) 会場：区役所南口エントランスホール 参加校：6校 (4) 県立大学生による クリスマスツリーの装飾・展示 期間：11月12日(金)～12月26日(日) 会場：東区プラザ2階中央フロア (5) 県立大学書道サークル作品展示 期間：令和4年1月7日(金)～1月31日(月) 会場：区役所南口エントランスホール</p> <p>3 歴史普及啓発事業 (1) 東区歴史文化まち歩きの開催 開催日：11月4日(木)、11月13日(土)、11月14日(日) 参加者数：延べ44人 (2) シンポジウムの開催 開催日：令和4年2月12日(土) 参加者数：97人(関係者含む)</p>	<p>1 東区市民劇団演劇公演事業 公演「夜明け前～亀田郷1945～」 開催日：2月4日(土)～5日(日) ※2回公演 会場：江南区文化会館 ホール (定員350人)</p> <p>2 東区文化活動サポート事業 (1) 東区まんなか文化祭 開催日：11月2日(水)～11月14日(月) 会場： ■中学生作品 東区役所1階南口エントランス 吹抜部分：体育祭応援パネル 2階：文化部作品展示 ■一般公募 3階フリースペース (2) 県立大学生によるクリスマスツリーの装飾・展示 期間：12月2日(金)～12月26日(月) 会場：東区プラザ2階中央フロア (3) 県立大学生書道サークル 作品展示 期間：令和5年1月5日(木)～1月31日(火)(予定) 会場：区役所南口エントランスホール</p> <p>3 歴史普及啓発事業 (1) 東区歴史文化まち歩きの開催(大形地区) 開催日：令和4年10月2日(日) 参加者数：20人 (2) 歴史講演会 題目：木戸・牡丹山地域の成り立ち 開催日：令和4年11月19日(土) 参加者数：43人 (3) 歴史5団体との情報交換会の開催 開催日：令和4年5月10日(火)、11月28日(月)</p>	<p>2 東区文化活動サポート事業 令和4年度東区まんなか文化祭応募数 ○一般 個人：10人 団体：3団体 ○区内中学校美術部作品展示：東新潟、山の下、石山、藤見、木戸、東区中学校の5校 ○体育祭応援パネル展示：東新潟、山の下、石山、藤見、木戸、東区中学校の6校</p> <p>3 歴史普及啓発事業 ○東区歴史文化まち歩き参加者数：20人 ○個々に活動している歴史サークル5団体と連携。まち歩きマップ作成に向け協議中。(マップ作成は令和5年度予定)</p>	<p>【評価】 演劇公演のオーディションや作品展示などで区民が文化活動に参加し、鑑賞する機会を提供できるほか、東区の歴史の普及啓発につながっている。 区民の文化鑑賞と活動団体の発表の機会を提供することで、東区のまんなかである区役所庁舎から文化を発信するとともに、にぎわいの創出と地域の活性化を引き続き図っていく。 歴史普及啓発事業については、公民館事業と協力・連携しながら事業を実施する。</p> <p>【来年度方針】 継続(一部見直し) 令和4年度中にプラザホールの天井改修工事が終了するため、令和5年度は市民劇団演劇公演を東区プラザホールで行う。 「東区まんなか文化祭」は、発表の機会が少ない中学生の作品展示を中心に、引き続き来年度も実施する方向で、事業実施後のアンケート結果も参考に検討する。 県立大学生と連携したクリスマスツリーや書道作品の展示は継続して実施する。 歴史普及啓発事業は、公民館事業と協力・連携しながら実施する。</p> <p>【必要予算額】 3,000千円 ・東区市民劇団演劇公演事業(1,500千円) ・東区文化活動サポート事業(1,000千円) (中学生文化部発表、体育祭応援パネル展示などの文化祭実施の委託料、クリスマスツリー設置、書道展示) ・歴史普及啓発事業(500千円)</p>

令和4年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R3年度実施実績	R4年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
美しい東区環境づくり 事業 (H31～見直し) 【R4予算額 1,100千 円】	区民生活課 【第三部会】	<p>【事業目的】 区ビジョンまちづくり計画に掲げた「ごみのない美しいまちづくり」を推進するため、まちの美化や環境保全意識の向上を図る取り組みにより「クリーン東区」のイメージ定着を図る。</p> <p>【事業内容】 1 東区クリーン大作戦 コミュニティ協議会単位で区民総出による一斉清掃を実施する。 2 ボランティア清掃の支援 自治会、町内会、その他の団体が通年実施する地域清掃活動について支援を行う。</p>	<p>1 東区クリーン大作戦 ・東区内のコミュニティ協議会が7月17日～10月31日に実施。 一斉清掃には延べ5,347人が参加。 ・ごみの回収量 燃やすごみ8.0トン 燃やさないごみ 0.1トン 粗大ごみ 2点</p> <p>2 ボランティア清掃の支援 ・団体数 310団体 ・参加者数 23,142人</p>	<p>1 東区クリーン大作戦 今年度の東区クリーン大作戦は、8月28日を中心に7月16日～10月30日まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止も踏まえて、11地域コミュニティ協議会が実施済。</p> <p>2 ボランティア清掃の支援 ボランティア清掃は11月末現在で316団体の計画を受付。</p>	<p>1 東区クリーン大作戦実績 H19年度 参加者 1,040人 H20年度 参加者 2,789人 H21年度 参加者 4,455人 H22年度 参加者 3,791人 H23年度 参加者 4,459人 H24年度 参加者 4,973人 H25年度 参加者 5,953人 H26年度 参加者 6,502人 H27年度 参加者 6,735人 H28年度 参加者 6,830人 H29年度 参加者 6,418人 H30年度 参加者 5,686人 H31年度 参加者 6,754人 R2年度 参加者 5,228人 R3年度 参加者 5,347人 R4年度 参加者 4,901人</p>	<p>【評価】 東区クリーン大作戦は各コミュニティ協議会が中心となって、地域の一斉清掃の取り組みが定着し、まちの美化とともに環境保全意識の向上が図られている。また、ボランティア清掃の取組促進と併せて、「クリーン東区」のイメージ定着が図られた。 R2年度から新型コロナウイルスの影響により、中止や人数を縮小し実施しているコミ協もあったため、全体の参加者は減少している。 今年度もクリーン大作戦実施の際には、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら実施した。 複数のコミ協が8月28日に実施したが、降雨の影響により参加者は少なかった。</p> <p>【来年度の方針】 拡充 1 東区クリーン大作戦 2 ボランティア清掃の支援 3 違反ごみの抑制 ごみに関する啓発看板を作成し、要望のある自治会等へ配布する取り組みを新たに追加実施する。 ・ごみ集積場の違反ごみ抑制看板の作製及び配布</p> <p>【必要予算額】 1,000千円</p>

令和4年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R3年度実施実績	R4年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
<p>みんなで見守ろう認知症！おれんじネット (R2～)</p> <p>【R3予算額 800千円】</p>	<p>健康福祉課</p> <p>【第2部会】</p>	<p>【事業目的】 認知症になっても安心して暮らせる地域づくりのため、地域住民の認知症に対する理解を深め、認知症を地域で見守るネットワークづくりを推進する。</p> <p>【事業内容】 1 認知症講演会や研修会等の開催 2 認知症SOS検索模擬訓練 3 ネットワークづくりの推進</p>	<p>1 認知症講演会や研修会等 ・区民を対象とした認知症についての研修実施 受講者36人</p> <p>・認知症についての講演会の開催 参加者23人(下記訓練後)</p> <p>2 認知症SOS検索模擬訓練 ・牡丹山地区における認知症SOS検索模擬訓練を実施(コロナウイルス対策として、連絡を受けて、会場に集まる集合訓練方式に変更して実施) 参加者23人</p> <p>・上記認知症講演会のDVDを制作</p> <p>3 ネットワークづくりの推進 ・上記取組により認知症支援の輪が広がった。</p>	<p>1 認知症講演会や研修会等 ・地域包括支援センターや東区キャラバン・メイト連絡会の企画により、9月に実施 受講13人</p> <p>・東区キャラバンメイトによる認知症基礎知識や声掛けなど技術習得の講習会の実施(下記訓練前に実施) 受講者87人</p> <p>2 認知症SOS検索模擬訓練 ・牡丹山地区における認知症SOS検索模擬訓練を実施(7月) 参加者 87人</p>	<p>1認知症講演会 キャラバンメイト(ツクイ、地域包括センターの有志者で構成)が中心に企画運営 ・これまでの受講者 R2 20人 R3 36人 R4 13人 計 69人</p> <p>2 認知症SOS検索模擬訓練 ・おたがいさまのまちづくり実行委員会(あしぬま会(社福)、キャラバンメイト、包括支援センター、地元自治会等で構成)により企画、運営 当日は、地元住民からも参加 参加者 87人</p> <p>・当該取組を参考に、中央区内でも今年度、同様訓練を実施する予定。この事業を通じて全市的な認知症への取組の広がりに繋がった。</p>	<p>【評価】 1認知症講演会、研修会 ・R2からの取組により、認知症講演会の受講者が延べ69人となり、区民や福祉関係者のスキルアップにつながった。 ・マニュアルの作成、3回の研修会の実施を通してノウハウ、経験を蓄積し、キャラバンメイトが中心に企画、運営できる体制が整った。</p> <p>2 認知症SOS検索模擬訓練 ・当該訓練の実施を通じて、福祉関係者だけではなく地域住民も一緒に企画、運営を行う体制が構築できた。 ・訓練に地域住民も参加し、認知症の方に対する地域での見守りが広がった。 ・当該訓練を中央区内でも実施する動きがあり、認知症への取組拡大に繋がった。</p> <p>【来年度方針】 継続 これまでの取組により、東区キャラバンメイト、おたがいさまのまちづくり実行委員会ともに、今後は自主的に企画運営できる体制にまで発展した。 次年度以降は上記団体がこれらの取組を自主に運営するともに、区内での活動が拡大、充実するよう、区としても主に活動団体のネットワーク面で支援する。</p> <p>【必要予算額】 なし</p>

令和4年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R3年度実施実績	R4年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
<p>じゅんさい池みらいプロジェクト (R2~R4)</p> <p>【R4予算額】 3,500千円 ↳地域課 1,500千円 ↳区民生活課 2,000千円</p>	<p>地域課 区民生活課</p> <p>【第1部会】</p>	<p>【事業目的】</p> <p>1 魅力発信 砂丘湖という希少な成り立ち等を持つじゅんさい池の価値や魅力を広く発信する。</p> <p>2 自然環境保全活動 地域住民や有識者の意見を踏まえ策定した「じゅんさい池みらいプラン」に基づき、池の自然環境保全活動を行う。</p> <p>3 じゅんさい池フォーラム&まち歩き じゅんさい池の価値・魅力を広く周知するとともに、自然環境保全に関する理解を深めるため、フォーラムを実施。併せて現地学習的な位置づけで専門家によるまち歩きを実施。</p> <p>【事業内容】</p> <p>1 魅力発信 2 自然環境保全活動 3 じゅんさい池フォーラム&まち歩き</p>	<p>1 方向性の検討 ・「じゅんさい池みらい会議」を令和2年度及び令和3年度で計7回開催。「じゅんさい池みらいプラン」を策定し、各課題への取り組み方針を定めた。</p> <p>2 魅力のPR ・パネル展の実施 区内6ヶ所を巡回 ・まち歩きの開催(東区歴史文化プロジェクトの中で実施) 日時: 令和3年11月14日(日) 参加者数: 15人 ・子ども向けじゅんさい池リーフレットの作成(10,000部) ・じゅんさい池ガイドブックの増刷(5,000部) ・区だより掲載(7回)</p> <p>3 自然環境保全活動 ・西池の園芸スイレン及びヨシ等の刈取り 日時: 令和3年10月3日(日) 参加者数: 56人(地域・郵便局・大学・区職員・業者) ・東池の園芸スイレンの根茎、木枝等の除去 日時: 令和3年12月20日(月) ・外来種カメの駆除 日時: 令和3年10月14日(木)~12月2日(木) 捕獲なし</p>	<p>1 魅力発信 ・子ども向けじゅんさい池リーフレットの配布(小学校: 5校、中学校8校) ・じゅんさい池ナイトウオークの開催(8月26日(金)) ・総合学習支援 木戸中(5月17日(火)) 藤見中(7月1日(金)) 東山の下小(9月28日(水)) ・動く市政教室ガイド 日時: 令和4年4月14日(木) 参加者数: 16人 ・イオンチアーズクラブ自然観察会支援(9月10日(土)) 参加者数: 小学生5人 ・東区PR動画の作成(東区まちづくり・ひとづくりプロジェクトの中で実施)</p> <p>2 自然環境保全活動 ・西池の園芸スイレン及び水際のヨシ等の刈取り 日時: 令和4年10月2日(日) 参加者数: 95人(地域・市民・企業・区職員・業者) ・外来種カメの駆除(東池・西池) 日時: 令和4年6月17日(金)~10月3日(月) 捕獲(東池のみ) ミシシippアカミミガメ6匹、クサガメ1匹(リリース)</p> <p>3 じゅんさい池オンサイトセミナー 日時: 令和4年11月3日(木・祝) 内容: 専門家による講演会及び現地学習会 参加者数: 46人</p> <p>4 活動母体の基盤づくり ・関係者ミーティングの開催(8月3日(水))</p>	<p>1 魅力発信 ・東山の下小、藤見中による総合学習(フィールドワーク) ・じゅんさい池ナイトウオーク参加(親子7組19人で実施)</p> <p>2 自然環境保全活動 じゅんさい池の自然環境保全作業 参加者数: 95人</p> <p>3 じゅんさい池オンサイトセミナー 市民・区民等を対象に実施 参加者数: 46人</p> <p>4 活動母体の基盤づくり 地域住民、区内事業者によるミーティングを開催</p>	<p>【評価】 令和2年度より特色ある区づくり予算「じゅんさい池みらいプロジェクト」として、魅力発信や自然環境保全活動を実施するとともに、令和3年度には地域住民や専門家などの意見を踏まえ、各課題への取り組み方針を定めた「じゅんさい池みらいプラン」を策定した。 同プランに基づき、魅力発信や自然環境保全活動を実施することは、地域の誇りづくりや活性化に有効であると考えている。</p> <p>【来年度方針】 「地域と水辺と共生プロジェクト」に統合。 令和3年度に策定した「じゅんさい池みらいプラン」に基づき、地域や行政が各々の役割分担のもと活動を展開するとともに、じゅんさい池や通船川などを含めた東区の水辺環境の魅力について、地域と連携しながら発信することで、地域への愛着の醸成やにぎわいの創出を図る。</p> <p>・持続可能な取組を目指した活動母体の基盤づくりへの支援 ・じゅんさい池ナイトウオークの開催 ・専門家によるセミナー及び現地学習会の開催 ・東区PR動画(令和4年度作成)を活用した情報発信 ・東区PR動画やガイドブックミニ等を活用した小中学校への総合学習支援 ・多様な団体が行うイベントとの連携・支援 ・自然環境保全作業の実施 ・案内看板製作</p> <p>【必要予算額】 4,500千円 ↳地域課 1,500千円 ↳区民生活課 2,000千円 ↳建設課 1,000千円</p>

令和4年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R3年度実施実績	R4年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
<p>ウェブでつながるマタニティ期からの子育て応援事業 (R3～)</p> <p>【R4予算額】 4,200千円</p>	<p>健康福祉課 【第2部会】</p>	<p>【事業目的】 妊娠期から父母双方に育児知識を得てもらい、知らないことによる虐待リスクの減少と出産後の不安感・孤立感を解消する。また、父親向けの講座を開催し、男性の子育て参加を促進する。 講座や相談会は集合形式に加え、新しい生活様式に対応したウェブによるリモート開催も実施する。</p> <p>【事業内容】 1 妊娠期からの子育て支援講座 2 父親の育児参加の促進 3 子育て応援冊子の発行 4 子どもへの虐待防止の強化</p>	<p>1 妊娠期からの子育て支援講座 ・プレママ・パパを対象に、助産師会との連携による講座を10回開催(母:105名、父:105名) 講座の開催に当たっては集合形式だけでなくリモート開催も導入、感染症拡大による施設の臨時休館時には急速リモート開催を2回実施した。 ・BP(親子の絆づくりプログラム)を9クール、NP(子供を育てる親を支援)を4クール開催し、親子間の愛着形成や子育てに必要な知識や方法を学ぶことで虐待防止を啓発</p> <p>2 父親の育児参加の促進 ・父親向けの講座を休日に11回開催(父:81名参加)</p> <p>3 子育て応援冊子 ・「ままっぶ」6,000部発行</p> <p>4 子どもへの虐待防止の強化 ・い〜てらす、こども創作活動館を会場にこども、保護者、施設職員を対象としたCAPワークショップを実施 ・区内中学校全8校中、6校で性感染症予防等をテーマとした思春期健康教育を実施(2校は新型コロナウイルス感染拡大のため中止)。また、依頼のあった小学校1校へも生命の大切さ伝える健康教育を実施</p>	<p>1 妊娠期からの子育て支援講座 ・プレママ・パパセミナーを年10回開催予定(7回開催済) (配信用動画も用意し、募集定員を超過した場合にWebでの動画提供を行っている。(2回実施済)) ・BP:8クール予定(6クール済)、NP:3クール予定(2クール済) これらの講座参加者を対象にウェブを使ったリモートでの「親子ふれあいタイム」などを開催(3回開催済) ・7月から育児に関する助言動画を新潟シティちゃんねるで公開開始、母子手帳交付時などにQRコードを掲載したチラシを配布、手軽な情報入手先として紹介している。(4本公開済)</p> <p>2 父親の育児参加の促進 ・父親向け講座11回予定(14回開催済・新規講座導入により増)</p> <p>3 子育て応援冊子 ・年度内の発行に向けて作業中</p> <p>4 子どもへの虐待防止の強化 ・こども、保護者、施設職員を対象としたCAPワークショップを「わいわいひろば」「い〜てらす」「こども創作活動館」の各館で開催済 ・区内中学校全8校で思春期における性教育の研修を実施(5校実施済)</p>	<p>1 子育て応援冊子編集委員として子育て中の区民7名が参加</p>	<p>【評価】 妊娠期の支援事業であるプレママ・パパセミナーやBP・NPなどの講座を開催した。ウェブ活用を取り入れ、人気の講座「プレママ・パパセミナー」が募集定員を超過した際には配信用動画を提供、より多くの意欲あるママ・パパに情報を届けることが可能となった。 出産に向けて不安を持つ妊娠期の女性、そのパートナーから育児知識を得てもらうことで、知らないことによる虐待リスクの減少に貢献していると考えている。 男性の参加を考慮した休日開催の講座「プレママ・パパ情報交換会」を新規導入、育児に参加したくとも知識を得る機会に恵まれていなかった男性にその機会を提供できるよう進めている。 育児に関する助言動画を公開することで、集合形式の講座参加に消極的な方にも情報を届けることを可能とした。また、顔の見える相談先「わいわいひろば」などのPR動画も加えることで、施設を利用しての子育て世代の交流の場、気軽な育児相談先として認知度向上を進めている。</p> <p>【来年度方針】 継続(区づくりから個別要求に振替) コロナ禍での外出自粛、他者との交流機会減少にストレスを抱える子育て世代は多く、他者との交流や育児に関する学習機会に対するニーズは極めて高いと認識している。 育児講座開催、子育て世代の交流機会の創出を継続、状況変化に応じた募集定員の拡大を目指す。 集合形式の講座参加に消極的な方への情報提供手段、災害時の活用なども視野にウェブ活用も継続する。 CAPワークショップを東区にある子育て支援施設3館で実施し、出産前の親から小中学生の親子まで、幅広い層に虐待についての理解を深めて行く。 各種健診などあらゆる機会を捉え、虐待の未然防止に継続して取り組む。 これら令和4年度からの取組を継続、必要な改善に努めていく。</p> <p>【必要予算額】 4,200千円</p>

令和4年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R3年度実施実績	R4年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
<p>歯っぴーすまいるプロジェクト (R2～)</p> <p>【R4予算額】 1,900千円</p>	<p>健康福祉課</p> <p>【第2部会】</p>	<p>【事業目的】 東区の歯科保健の課題である子どものむし歯の改善に向け、こども食堂・保育園・幼稚園等と連携し、歯と食育の健康づくりを行う。</p> <p>【事業内容】 1 子ども食堂と連携し、来所する親子を対象に、むし歯予防・食育の啓発や歯科衛生士、栄養士による健康相談を行う。 2 保育園、認定こども園、幼稚園年長児を対象とした巡回むし歯予防教室(県歯科衛生士会へ委託) 3 放課後児童クラブにおけるむし歯予防教室 4 歯っぴーすまいるチャレンジの実施:子ども食堂、放課後児童クラブへ来所する子どもへカードを配布し、歯みがき実施状況により景品を進呈し、楽しみながら適切な歯科保健行動が家庭でとれるよう支援する。 5 歯と口の健康づくり啓発事業(イベントブース) 6 区歯科医師会、養護教諭との情報交換・連携会議</p>	<p>【子ども食堂における歯と食育の健康相談】 区内全5か所の子ども食堂で計9回実施 参加児:197人</p> <p>【保育園、認定こども園、幼稚園巡回むし歯予防教室】 13園331人に実施</p> <p>【放課後児童クラブむし歯予防教室】 18施設732人に実施</p> <p>【チャレンジカードの配布】 ・対象:子ども食堂、放課後児童クラブへ来所した児 ・配布数:1,350、回収数:354(回収率:26.2%) ※カラーテスター配布:1,336人</p> <p>【歯とお口の健康づくり啓発事業】 歯科衛生士・栄養士による歯と食育の相談コーナーを設け、啓発。 ・R3.5.3 寺山こどもまつり 来場者:222人 ・R3.11.13 にいがたお米プロジェクトフードパントリー 来場者:165人</p> <p>【歯科医師会、養護教諭との連携】 ・東区歯科医師会各班長へ取り組みの説明・共有。 ・養護教諭との会議については、新型コロナウイルス感染者増大のため実施なし</p>	<p>1 6～7月に子ども食堂全9か所で、計17回実施。来所した親子にむし歯予防・食育の啓発や個別相談・指導を実施。また2カ所の食堂では、パネルシアター形式での健康教育も実施した。</p> <p>2 保育園等のむし歯予防教室は、10園284人に実施。</p> <p>3 放課後児童クラブは、7～8月(夏休み期間中)、及び10月に20施設で実施。840名が参加。</p> <p>4 チャレンジカード:配布数1,770枚、回収477枚(回収率26.98%) ※カラーテスター配布:1,626人</p> <p>5 各種イベントにて歯と食育の健康相談コーナーを設け、啓発や歯科衛生士・栄養士による個別相談・指導を実施。 R4.5.3.寺山こいこいフェスタ 来場者:244人、 R4.10.16.にいがたお米プロジェクト 来場者173人、 R4.11.12東区社会福祉協議会フードパントリー 来場者169人、 R4.11.23こども食堂フェア 来場者125名。</p> <p>6 歯科医師会との情報交換は準備中。養護教諭との連携会議は、新型コロナウイルス感染状況をふまえず実施せず。 また、保護課と連携し、年3回生活保護世帯の親子ヘリーフレットによるむし歯予防の啓発を実施。</p>	<p>子ども食堂運営団体や関係機関等と区の歯科保健に関する課題を共有し、連携して事業を実施している。 また、年1回子ども食堂連絡会議へ参加し本事業の報告を行っている。</p>	<p>【評価】 1 感染対策をとり、模型を使用した歯みがき指導を実施。フードモデルの展示やパネルシアターによる啓発等媒体を工夫し、むし歯予防と健康づくりに関する理解を深めてもらっている。 2 実施した園からは大変参考になった、子ども達がむし歯予防に関心を持ったと思うとの感想をいただき、園での継続指導や保護者への啓発にもつながっている。 3 実施したクラブからは、子どもたちの反応もよく教室後に健康教育の内容について話題に出す児童がいるなどむし歯予防への意識付けになった、毎年実施してほしいと感想をいただいている。チャレンジカードへも積極的に取り組んでいる様子があった。 4 チャレンジカードやカラーテスターの配布(小学生以上のみ)は、親子で楽しみながら正しい歯みがき方法を継続していただく一助となっている。保護者へ仕上げ磨きの大切さを伝えていくためにも、次年度も同様に実施したい。 5 むし歯予防のポピュレーションアプローチとして、引き続き機会を捉えた区民への啓発が必要。さらに、個別の啓発や助言を強化していく。 6 コロナ禍で、歯科医師や養護教諭と会議をもつことが難しい状況があるが、今後も区の取り組みについて共有し、より良いむし歯予防対策について検討する。</p> <p>【来年度方針】 継続(区づくりから個別要求に振替) 1 子ども食堂でのむし歯予防の啓発・健康相談:全施設へ各2回実施。 2 園への巡回むし歯予防教室:意向調査を行い、希望のあった園へ実施。歯科衛生士会へ委託。 3 放課後児童クラブでのむし歯予防教室:むし歯予防に意識を持ち取り組める年齢の子どもを対象としており、指導の効果が高いため、希望する団体へ毎年実施できるよう調整して実施する。 4、5、6:R4年度と同様に実施。 ハイリスク者へのアプローチを歯科医師会、養護教諭と連携し検討。また、保健師等が関わっている子育て中の世帯へ個別にむし歯予防の啓発・指導を行う。</p> <p>【必要予算額】 1,900千円</p>

令和4年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R3年度実施実績	R4年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
避難所運営ワークショップ事業 (R3) 【R4予算額 1,400千円】	総務課 【第1部会】	<p>【事業目的】 地域防災力向上のため、区内全ての避難所を対象に、実際の避難所運営を想定したシミュレーションを体験してもらうことで、マニュアル整備の参考としたり、今後の防災訓練に取り入れてもらうなど、災害時における円滑な避難所運営の確立を目指す。</p> <p>【事業内容】 ・シミュレーションの実施 ・シミュレーション体験を踏まえたフォローアップの実施</p>	<p>当初、R2年度から実施予定だったが、コロナ禍によりR3年度から実施した。</p> <p>【R3年度実施】 4コミ協、9避難所を対象に実施した。 東山の下コミ協 江南コミ協 南中野山コミ協 東中野山コミ協</p> <p>東山の下小学校 藤見中学校 東高等学校 中地区コミセン 江南小学校 石山中学校 南中野山小学校 東中野山小学校 東石山中学校</p> <p>実践的なシミュレーションを行うことにより、運営の際の課題に気づくことができ、具体的なイメージをもつことができた。</p>	<p>【開催日】 事前説明会:10月26日 避難所運営シミュレーション:12月3・4日 フォローアップ:12月14日</p> <p>【R4年度予定】 5コミ協、13避難所で実施 山の下コミ協 木戸コミ協 牡丹山コミ協 大形コミ協 中野山コミ協</p> <p>山の下小学校 木戸小学校 竹尾小学校 東新潟中学校 木戸コミセン 牡丹山小学校 木戸中学校 はなみずきコミハ 大形小学校 大形中学校 北高等学校 中野山小学校 シルバーピア石山</p>	<p>避難所運営の中核となる「避難所運営委員会」メンバーの地域住民が参加する。</p>	<p>【評価】 ①事業内容の妥当性 従来から、地域・施設管理者・行政の三者で避難所運営体制の構築を図ってきたが、机上での検討が主であった。避難所運営は、地域主体での運営が望まれることから、避難所運営シミュレーションを行うことで、具体的なイメージをもった円滑な避難所運営につながる。 ②事業の効率性と費用対効果 避難所運営シミュレーションを、コミュニティ協議会単位を対象に行い、模擬訓練の経験をその後の避難所での防災訓練に取り入れてもらうことで、地域の防災力向上を図る。 ③協働の視点 各地域のコミ協・自治会役員等で構成される避難所運営委員を対象に実施する。 ④今後の事業展望 3か年度をかけて東区内全避難所を対象に、避難所運営ワークショップを実施する。</p> <p>【R5年度予定】 2コミ協、6避難所で実施予定 桃山コミ協 下山コミ協</p> <p>桃山小学校 山の下中学校 朝鮮学校 下山小学校 下山中学校 下山コミハ</p> <p>【来年度方針】 継続(区づくりから個別要求に振替) 3か年度をかけて、全ての避難所に対し事業を実施するため、継続。 必要予算額:1,400千円</p>

令和4年度 特色ある区づくり予算(区役所企画事業)の評価について

事業名 (事業開始年度) 【予算額】	担当課 【所管部会】	事業概要	R3年度実施実績	R4年度実施実績 及び途中経過	事業への区民参画 (状況・実績)	事業に対する担当課の評価 及び来年度の取り組み方針
<p>地域の防災力向上事業 (R3拡充)</p> <p>【R4予算額 3,200千円】</p>	<p>総務課</p> <p>【第1部会】</p>	<p>【事業目的】 自然災害への備えや、避難の際の感染症対策を学ぶことで、地域の防災力向上を図るため、防災出前講座を実施する。 また、地域と小学生による地域安全マップづくりを支援することで、子どもと地域の防犯力向上を図るほか、防災・防犯・交通安全の各分野の周知啓発を行う。</p> <p>【事業内容】 ・防災出前講座 地震編、水害編、避難所運営編を基本としつつ、可能な限り申込者の希望を取り入れた内容で行う。 ・地域安全マップ作成支援 作成団体に対し、用品等の貸し出しを行うほか、必要に応じて区職員がサポートを行う。また、完成した作品を全国地域安全マップコンテストに出品する。 ・各種パネル展 区役所南口エントランスホールにおいて、防災、防犯、交通安全のパネル展示を行い、広く区民に周知を行う。</p>	<p>・防災出前講座 コロナ禍により実施件数は少なかったが、R2年度よりは増加。R3年度は26回開催し、1,766人の参加があった。 (内訳) 地域 16団体 学校 8団体 その他 2団体</p> <p>・地域安全マップ作成支援 コロナ禍により1団体、3作品の参加にとどまった。 (内訳) 1校 3作品</p> <p>・各種パネル展 (内訳) 防災 5回 防犯 2回 交通 5回</p>	<p>【11月末日時点】 ・防災出前講座 21回 (内訳) 地域 12団体 学校 7団体 その他 2団体</p> <p>・地域安全マップ支援 (内訳) 2校 3チーム(中野山小2、大形小1)</p> <p>・各種パネル展 (内訳) 防災 4回(地震・災害) 防犯 2回(拉致・詐欺) 交通 3回(春・夏・秋)</p> <p>※防災出前講座の一部は、コロナ禍の影響によりキャンセル・未実施あり。</p>	<p>防災出前講座は、地域に浸透してきており、多くの区民に利用していただいている。 地域安全マップ作成の参加数は、コロナ禍の影響もあり低調傾向にあるが、R4年度は2校3チームが参加した。</p>	<p>【評価】 ①事業内容の妥当性 災害時にはひとり一人の適切な避難行動が重要である。防災講座の中で、地域の地理的特性などを学び、自らの避難行動や災害に対する日頃の備えの大切さを考える機会となっている。 ②事業の効率性と費用対効果 自主防災訓練などで防災講座を開催し、多くの市民が受講している。また、多くの区民が利用する東区エントランスホールで、定期的に防災啓発パネル展示を行うことで、効果的な啓発を行うことができる。 ③協働の視点 防災出前講座は、地域の自主防災訓練などを活用し実施していることから、自治会の役員方と話し合い、地域に合った講座の内容を決めている。また、地域からの要請により、地域安全マップづくりのサポートを行っている。 ④今後の事業展望 防災出前講座は、東区職員のほか、外部の防災専門機関にも講師依頼することで、最新情報を市民へ提供できているため、区の啓発事業の柱として今後も継続していきたい。あわせて、地域安全マップ支援も継続することとし、さらなる防犯力向上に努める。</p> <p>【来年度方針】 継続(区づくりから個別要求に振替) 防災意識を高めるためには、定期的に防災出前講座を実施するなどして、日頃から防災について考えてもらうことが大切である。 今後も防災出前講座や地域安全マップ支援を継続的に実施するとともに、多くの市民から防災等を考えてもらうよう啓発を行っていく。 あわせて、市公式Youtubeチャンネルを活用した防災啓発教材DVDの公開、区だよりによる貸出しDVDメニューの周知など、より広く市民の意識向上につながるよう、広報を行っていく。 必要予算額:3,200千円</p>